

# No.103

2017(平成29)年  
11月1日

発行  
浄土真宗本願寺派  
和歌山教区日高組  
責任者  
藤本使朗



いちばん  
一番はもちろん尊い

しかし一番よりのも

尊いピリだってある

東井義雄  
とくいよしお



広い本堂で元気いっぱい！笑顔いっぱい！楽しく遊びました(日高組キッズサンガ)

## ヒダカくん・ひかりちゃんのお話 その七

### 『御文章』のお話

永原智行

**ひかりちゃん** すごいわね、五百年前にポーダーレスの思想があったということ？ また、何度も攻められて蓮如さんはタフだったのね。

**ヒダカくん** もちろん、蓮如さん自身もタフだったろうけど、蓮如さんの周りに偉いお弟子がいたんだ。偉いといっても、どこかのお寺で修行したとかいうのでなくて、

昼間は念仏者で、夜は反権力者の海賊(かいぞく)として琵琶湖(びわこ)の経済を牛耳(ぎゅうじ)っていた人たちだよ。

今は、経済といえは、貨幣(かへい)の経済力をいうけど、彼らが、海賊や悪党(あくとう)といわれたのは、土地を支配していなかったから。当時から全国的に普及していた貨幣や物の流れを支配していたんだ。

**ひかり** 封建制度(ほうけんせいど)ということの範疇外(はんちゅうがい)の人ね。

**ヒダカ** 代表的な人は、道西(どうさい)だよ。道西は蓮如さんより十六歳も年上だけど、蓮如さんを深く敬愛(けいあい)してたんだ。道西に頼まれて、正信偈(しんじょうしんげ)の解釈をしたり、『御文章』を書いて門信徒に手紙で布教することを勧(すす)めたんだ。道西が、蓮如さんに書いてもらった「南無阿弥陀仏」の掛け軸(かけじく)を倉庫に大切にしまっ込んでいたのを、蓮如さんはしまわずに「掛け破れ」と論(ろん)されたんだ。

**ひかり** 戦国の時代の人は元気な人ね。

**ヒダカ** それからこんな話もあるんだ。蓮如さんの勢力が盛んになって、山科に広大な本願寺を建てたんだ。それまでの逃亡生活であずけられていた親鸞さまのご真影(ごしんねい) 木像(もぞう)をかえしてもらいたいと大津のお寺に頼むことになったけど、この像があることで繁盛(はんじょう)していたお寺は、生首(なまくび)二つもってこいと難癖(なんくせ)をつけたんだ。この話を聞いたある門徒の親子は、「阿弥陀様のご恩に報いるとさだ」と息子の首をそのお寺に持っていき、「次に私の首をはねよ」といって返してもらおうとしたんだよ。

**ひかり** ちょっと、今の私たちには理解できない行動だけれど、当時の人たちは命がけで自分たちの信仰を守ろうとしてたのね。







日高組主催 ☆☆☆堂内で笑い声と念仏の音が響く☆☆☆  
**「子どものつどい～キッズサンガ～」**4・5面



ねらった的に当たるかな？ 意外と簡単だよ！

結ぶ絆から、 広がるご縁へ

近年、多様な家族形態、生活習慣の変化により、日常生活の中で宗教的習慣を伝えていくことが大変困難な状況にあります。しかしながら、今年も沢山の子供たちが行事に参加され、お寺を居場所にしてもらえるようなご縁づくりにつながるイベントの重要性を感じた一日でした。世代をこえたご縁づくりの場としても今後も継続していきます。(報告者 鈴木章吾)



お昼は寺族婦人のおばちゃん特製の「カレーライス」！ 食後は「かき氷」もいただきました。



暑いけど一日楽しく遊ぼうね！



お仏壇のパズルって結構むつかしいなあ



上手に完成できたかな？ はあい！



濱出さんの指導で手作り水鉄砲をつくったよ



あなたといっしょに 差別のない 未来を生きたい

平成29年度、日高組子どものつどい「キッズ・サンガ」が7月29日、由良町里の蓮専寺において開催され、「子どもの声が聞こえるお寺に」をスローガンに、日高組内から35名の児童が参加して楽しみました。

当日は、総代会・婦人会の協力のもと、盛りだくさんの催しが準備され、子供たちは猛暑の中、大粒の汗を流しながらも手を合わせ、笑顔で多くの人とふれあい、元気がいっぱい夏休みの1日をお寺で過ごしました。

結ぶ絆から、 広がるご縁へ

御同朋の社会をめざす運動(実践運動)

最初はまず全員で正座をし、念珠を持って合掌し、お勤めをしました。行事の「まなぶ(おぶつだんあわせ)」ではグループに分かれて、ぼらぼらになった仏壇の荘厳の絵を正しい場所に並べるパズルを使って、みんなで本堂の荘厳を参考にしたり、家の仏壇を思い出したりと、協力し悪戦苦闘しながらも正しい仏壇になるようにゲーム感覚で学びました。

次に「つくる」では、一人ひとりに用意された、竹製の水鉄砲の部品を大人に手伝ってもらいながらも、一生懸命に組み立てていきました。



子どもの声が聞こえるお寺に  
 キッズサンガ2017イン 蓮専寺



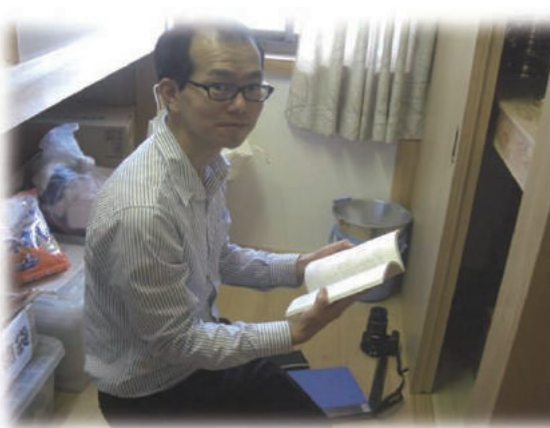


和歌山市の市立博物館において、「特別展 幕末の紀州藩」の展覧会に、由良町教専寺から第14代將軍徳川家茂公が使用したお風呂桶と、「公方様御淀泊諸事控」などが出展されます。(10月21日(土)から11月26日(日)まで入館料五〇〇円)

公方様御淀泊諸事控によると、文久4年(元治元年 一八六四) 1月6日と7日に14代將軍徳川家茂公が、参与會議のある二条城に向かうために、軍艦翔鶴丸で大坂に向かう途中、当寺を本陣に休息された。その際、病弱の將軍は朝鮮人参を入れたお風呂にはいられ、蜜柑を召し上がった。その風呂桶は今に残っている。蜜柑の木は「献上蜜柑」と今に残っている。蜜柑の木はこの一行の中に勝海舟がいたという。

14代將軍 家茂公の  
**風呂桶**

和歌山市立博物館  
「秋季特別展」に出展！  
(阿戸 教専寺)  
組内寺院 宝物紹介



今回の出展に当たり、6月には市立博物館の佐藤顕先生が調査に、7月には佐藤先生と太田宏一先生が、図録等の準備のため来坊されました。



風呂桶の底板に書かれている文字

江南山宝物  
元治(げんじ)元 甲子(きのえね)初春  
正月七日 7ツ時比(ころ)  
上様御浴湯  
被遊候(こうむりあそばされそうろう)



壮年会会員にも『念仏者の生き方』に学ぶと講義される中岡教務所長



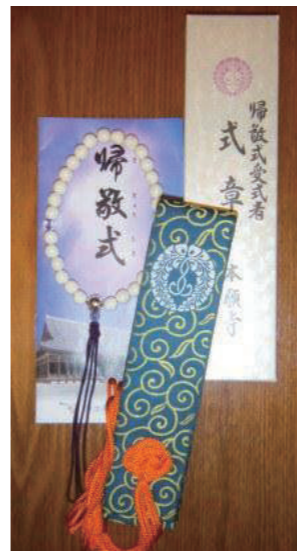
8/19 仏壯連盟総会にて、新役員が選出される  
左から 会長 森下将美さん(浄明寺)  
副会長 工徳一夫さん(念興寺)  
副会長・会計 塩崎隆弘さん(円照寺)  
緊張した様子でご挨拶！  
引き続きの研修会では中岡教務所長の講義を受けた

研修会の風景  
仏教壮年会連盟  
門徒総代会

結ぶ絆から、広がるご縁へ



7/15 総代会前期研修会には大勢の門徒総代さんが参加、研修会では中岡教務所長から講義を受けた



帰敬式(おかみそり)を受式するとご本山より法名と共に式章が授与されます

各寺院では「報恩講」法要が勤まり、鐘の音が聞こえる時期となりました。鐘の音に導かれ、是非お誘い合わせお参りしましょう。

式章とは僧侶が首に掛けている輪袈裟を短くしたような物を言います。

近年、お寺にお参りをするときや研修会でこの式章を掛けているお方が多く見られるようになりました。

この式章は帰敬式を受け、ご本山よりいただくのですが浄土真宗の門徒である明かしくなります。

ご家庭での仏事やお寺の法要時などには是非着用しましょう。

また、式章はほぼ一定の大きさ形ですが、いろんな柄模様があります。

なお総代さんには「総代式章」仏教婦人会には「仏婦連盟式章」などがあります。

お寺参りの必需品として、聖典やお念珠と共に必ず持参しましょう。

(鈴木)

門徒心得  
式章 (門徒式章)



### 第3ブロック門信徒総研修会に280名がつどう 於 日高別院 9/30(土)



## 読者の声

※「老若男女が集まるお寺にしよう」を読みましたが、私も前から考えは同じです。各お寺として、子供から老人まで集まれるイベントを前から考えていますが一人では何もできません。

※いつも「ひかり」を拝読しています。今回は衣奈西教寺の降誕会を載せていただきうれしかったです。

※小学校の時は教専寺の土曜学校で、お勤めを教えてもらった。

※今年の暑さは格別に思います。秋彼岸が待ち遠しいです。

※酷暑の折、ご自愛下さいませ。

※いつもお世話になっていきます。

## 日高組通信

### ☆行事報告

#### ◎門徒総代会

29年度門徒総代会前期研修会が7月15日、日高町小浦円行寺にて開催され、中岡順忍和歌山教区教務所長による「念仏者の生き方」に学ぶの講題で、専ら門主の御消息について解説を受けたながら学びました。(6面に関連記事掲載)

#### ◎日高組キッズサンカ〜子どものこと〜

7月29日、由良町里の蓮専寺にてキッズサンカが日高組主催、日高組青少年部運営の元で行われました。(4・5面に詳細記事掲載)

#### ◎仏教壮年会連盟

29年度日高組仏教壮年会連盟の総会並びに研修会が8月19日、御坊市の花ご坊にて開催され、会員・僧侶ら25名が出席、29年度事業計画案、予算案、役員選出等が審議され、それぞれ原案通り承認可決されました。総会後には中岡順忍和歌山教区教務所長から仏教壮年会組織と、「念仏者の生き方に学ぶ」の講義を受け、「小欲知足」「和顔愛語」の生活実践が大切だと聞かされました。引き続き、懇親会が開催され、会員相互の親睦を図りました。(6面に関連記事掲載)

#### ☆和歌山教区主催第3ブロック門信徒総研修会

(日高組担当)

9月30日、本願寺日高別院において標記研修会「聞法の集い」が日高組担当により開催されました。講師に福井教区の藤井静蕉師をお迎えして、「確かな依りどころをいたたく人生」と題し、お話しいただきました。総勢二八〇名が参加、熱心に聴聞しました。

#### ◎仏教婦人会連盟

29年度仏教婦人会連盟の研修会が10月24日、本願寺日高別院にて開催され、菅原仏婦部長(専福寺住職)より「仏事のイロハ」阿弥陀様と私」の講題で研修を受けました。

### ☆行事計画

#### ◎第23回日高組真宗法座

「第10期連続研修会(れんけん)開講式」次の通り標記法座を開催しますので多くのご参加をお待ちしています。なお第10期連研(れんけん)の受講者募集をしていますので受講ご希望の方は11月末までにお手次の寺院までお申し込みください。

日時 12月10日(日)午後一時半から  
場所 日高町志賀 即生寺  
講師 滋賀教区 鈴木善隆 師



#### 連研(れんけん)とは

- 一. 連研の目的 僧侶と共に親鸞聖人のみ教えを伝える(門徒(これを門徒推進員といいます)を育てる事。
- 二. 研修の方法 2年間12回(1回3時間)の連続研修。
- 三. 研修の内容 私たちの人生の歩みを通して出てくる問いを互いに話し合う中で、親鸞聖人のみ教えに聞いていき、歩むべき方向を明らかにしていく話し合い法座を中心に研修をします。
- 四. 門徒推進員 組連研を終了後、本山本願寺における中央教修(3泊4日)を受講する事により、門徒推進員としてご活動いただきます。